

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	マイクロからマクロへ階層を超える秩序形成のロジック
領域代表者	武田 洋幸（東京大学・大学院理学系研究科・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、数理モデルや計算シミュレーションと実験生物学を共に取り入れることにより、組織構築や器官の機能形成にいたる理論をマイクロ（細胞）からマクロ（細胞群）に至るまで包括的に理解することを目的としている。これまでも、このような階層を超えての形態形成の理解には数理モデルの導入が必要と指摘されていたが、用いられたモデルが実験生物学で実証されにくいなどの問題点が散見されていた。しかし、本研究領域は実験系のプロジェクトと理論系のプロジェクトの共同研究が既に行われ、成果を挙げていることから、新学術領域研究として展開することで異分野融合による更なる発展や、新規性の高い概念が構築されることが期待できる。領域マネジメントに関しても共同研究の体制を構築している点や、適切に工学系研究者を取りこんでいる点、また、上記のように領域代表者と研究代表者が既に共同研究を行っており、密接な連携を築いている点が評価できる。さらに、本研究領域は公募研究において新たな研究手法を習得させることによる波及効果を狙っており、将来を見据えた研究者の育成が期待できる。</p>